

野迫川村

天空の國

てまどりケーブルからローカルな話題や
エリア情報などをお届けします

12
がつ
てま
ど
り
里

今月のコマドリは野迫川村のご紹介！

奈良県南部に位置する本州で最も人口が少ない村、野迫川村。山々に抱かれたこの村は、冬になると氷の花が咲く「樹氷」が広がり、幻想的な景色に包まれます。早朝には雲海が一面に広がり、空に浮かぶような絶景を楽しむことも。澄んだ空気の下では満天の星が輝き、静かな冬の夜を彩ります。また、1月には県指定無形文化財「北今西のオコナイ」が行われます。自然と伝統が織りなす野迫川村で、心温まる時間を過ごしてみませんか？

野迫川村～冬の絶景～「樹氷」

標高が高い野迫川村では、木々が真っ白な氷の花に包まれる「樹氷」が見られます。冷え込んだ朝、凍てつく風と霧が織りなす景色はまるで幻想の世界。晴れた日には青空とのコントラストが美しく、カメラ片手に訪れる人も多い冬ならではの絶景です。



野迫川村マスコットキャラクター

これもりくん



【これもりくん】

平清盛の孫である、平家随一の美男子 平維盛。維盛が最期を迎えたとされる「平維盛歴史の里」より誕生しました。笛と舞と妻をこよなく愛す、野迫川村一無口なイケメン。年齢はそれなり。村のPR活動を頑張ってくれています。

【つる姫ちゃん】

和歌とあまご料理を愛するおしとやかな、鶴姫より生まれた大和撫子。鶴姫公園から見える景色と夜景が大好き。源平の合戦にて敗れた平家の娘である鶴姫は、宮崎県椎葉村(しいばむら)より最愛の人である那須大八郎(なすだいはちろう)と再会しようと野迫川村まで辿り着き、出会えたという伝説があります。

つる姫ちゃん



受け継がれる祈りの文化ー北今西の「オコナイ」

【寿楽院 阿弥陀堂】 住所: 吉野郡野迫川村北今西404

野迫川村・北今西地区に伝わる「オコナイ」は、毎年1月2日に寿楽院阿弥陀堂で行われる新春の伝統行事です。巨大なカズラを切り落とす迫力の「カズラ切り」とともに、五穀豊穡や無病息災を祈る姿は、地域の人々に代々受け継がれてきました。近年はその荘厳な雰囲気を見学しようと旅行者も訪れ、行事の最後に行われる「餅の競り売り」では大きな賑わいを見せます。【奈良県指定無形民俗文化財】として今も大切に守り伝えられている、冬ならではの行事です。



★★★ オコナイの儀式が始まるのは夜7時ごろ ★★★



鴨・猪・雉を味わう、「自慢のカシキ鍋」

【ホテルのせ川】

住所: 吉野郡野迫川村北今西426
TEL: 0747-38-0011



ホテルのせ川の名物料理「カシキ鍋」は、鴨・猪・雉の3種の肉と、野迫川村特産の太麺などを合わせた贅沢な鍋料理です。山の恵みを一度に味わえる深い旨味と、太麺ならではのコシを楽しんだ後は、雑炊で締めるのが定番。天然温泉とともに味わえば、冬の寒さを忘れる温かさに包まれます。

寒い季節はもちろん、一年中
人気の醤油だしベースのお鍋です!



山の景色を望む窓からは、四季折々の風景が望めます。



◆◆◆編集後記◆◆◆

今月のコマド里は野迫川村をご紹介しました。野迫川村は雲海が観れることでも有名ですが、その他おすすめスポットには【鶴姫公園】があります。施設名の由来となった鶴姫がその昔、熊野に左遷された大八郎を慕って椎葉村を発ち、この地で流行り病に倒れ「七尾七浦の見える処に埋葬して欲しい」と言い残して亡くなったと伝えられています。そんな秘話の主人公鶴姫にちなんで、豊かな自然と地域資源を生かした公園です。また園内には3基の風力発電施設と遊歩道も整備され、360度のパノラマが広がる展望台からの眺めは素晴らしく、晴れた日には、淡路・四国まで見渡せるそうです。また、公園入り口の野迫川村総合案内所【レストラン鶴姫】では、休憩・食事はもちろん、特産品・おみやげなどの販売も行っています。皆さんも冬を満喫しに野迫川村へ訪れてみてはいかがでしょうか♪

ガイド誌担当: Y

《お問い合わせ先》

野迫川村役場 産業課

住所: 野迫川村北股84番地

TEL: 0747-37-2101

<https://www.vill.nosegawa.nara.jp/>